



若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 29

カフェで三原を元気にしたい

三原特別支援学校高等部2・3年生の皆さん

「自分たちが学んだことを生かして三原を元気にしたい」。三原特別支援学校で接客や清掃技術を学ぶ高等部の生徒が、校外にカフェを出店することで地域に貢献する活動に取り組んでいます。先月19日には、イオン三原店に1日限定で出店し、たくさんの人に自慢のコーヒーを振る舞いました。



湯の温度や入れる時間にも注意を払います

豆の種類や味を学んだり、専門店のスタッフを学校に招き、おいしい入れ方を練習したりと準備を進めました。「日頃接することのない、企業の人へ電話をかけるときは手が震えました」と涉外担当の**新宅真人**さん。みんな初めてのことばかりで苦労することもありましたが、良いカフェにしたいという強い気持ちで乗り越えました。とプロジェクトリーダーの**津田武**さんは振り返ります。

特にこだわったのはコーヒーの味です。どの豆を使い、どのような配合にするか、研究しま

がまとまらなかつた」と接客担当の**東典枝**さん。先生にも試飲し



てもらい、試行錯誤を重ねた末、ケーキなどの甘いものともよく合う少し濃い味のコーヒーに仕上げました。「お客さんが笑顔になり、また来たいと思ってもらえるようなカフェにしたい」と声をそろえる皆さん。生徒たちの思いが詰まったカフェは毎月1回のペースで開かれる予定です。

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人
選考 秘書広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



作品エピソード

ナンバンギセル
もりひらやすのり
撮影者 **森平康則**さん

ナンバンギセルはススキやミヨウガなどの根に寄生して育つ植物です。花の色がきれいなため、毎年見に行きます。

●撮影年月 平成30年9月
●撮影場所 中央森林公園